

**〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕**

担当課・係名	生涯学習課 社会体育係【問合せ・質問等の先（電話・内線番号）63-1000】		
第4次総合計画の 該当項目	<input type="checkbox"/> 4節 <input type="checkbox"/> 2項	生涯スポーツの充実	
	<input type="text"/>		

業務の名称	社会体育施設貸出事業		
(1) 根拠法令・条例	長久手		
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>21</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>196</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>243</u> 人・日)		
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>3,192</u> 千円 (平成20年度決算 (細目・細々目の実績から抽出・算定する))		
(4) 補助率 (補助金がある 場合のみ記載)	_____ % (平成20年度実績)		
(5) 業務期間	開始した年度	<u>62</u> 年度	終了 (予定) 年度 _____ 年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

①業務目的 (達成目標)	スポーツ人口の拡大を図るとともに住民の体カアップや健康意識の向上を図る。						
②業務が対象とする住民 (地域、層)	アリーナ、野球場等については10名以上で過半数が町内在住、在勤、在学の方で構成されたチーム。テニスについては町内在住、在勤、在学の方で中学生以上の方。トレーニングルームについては、町内在住、在勤、在学の方で15歳以上ただし、中学生は除く。卓球室については中学生以上の方ならだれでも利用できる。						
③業務の具体的な実施内容・方法 (平成20年度実績)	町民野球場、スポーツの杜、町民テニスコート、菖蒲池テニスコート、杵ヶ池テニスコート、杵ヶ池体育館の貸出業務を行っている。						
④業務の実施結果 (平成20年度実績)	【業務結果の説明指標】						
	結果の説明指標		17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標
	1	町民野球場 (利用率)	32.7%	31.8%	38.8%	43.5%	43.5%
	2	長久手スポーツの杜	41.4%	44.8%	47.4%	54.8%	54.8%
	3	町民テニスコート	42.5%	40.6%	40.0%	46.2%	46.2%
	4	菖蒲池テニスコート	70.1%	67.0%	65.8%	74.5%	74.5%
	5	杵ヶ池テニスコート	81.3%	79.1%	78.0%	84.8%	84.8%
6	杵ヶ池体育館 (アリーナ・柔剣道場)	69.1%	72.7%	74.0%	78.5%	78.5%	

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (簡条書きで簡潔に記載)

町民野球場、スポーツの杜の平日の利用を増やすこと

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)

体育施設の利用については、チーム登録制や在住、在勤、在学など施設により一定の条件を満たすことになっている。当日に予約のない体育館とテニスコートについては貸出を行った。また、パソコンや携帯電話から簡単に予約のできる施設予約システムを導入した。

(9) 業務の評価 (自己診断)

評価基準	評価の視点	三段階評価 (2~0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	2点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	1点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	1点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	1点
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	2点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	2点
2点: 成果あり、適切だった    1点: ある程度適切だった    0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.5点

(10) 総合評価 (課の見解)

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ol style="list-style-type: none"><li>前年度と同じく、そのまま継続する。</li><li>見直して継続(業務の拡大)</li><li>見直して継続(業務の縮小)</li><li><b>見直して継続(方法の改善)</b></li><li>見直して継続(他業務と統合)</li><li>廃止する。</li><li>休止する。</li></ol>
②評価理由	パソコンや携帯電話から24時間いつでも簡単に予約のできる施設予約システムを導入した。 (平成18年11月屋外施設・平成19年8月屋内施設) 平成20年度の利用率全体で19年度より7.56%増加した。

(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)

①改善目標	パソコンや携帯から簡単に予約のできる施設予約システムを導入した。
②改善時期	継続
③改善方法	今後も、より利用者の使いやすい方法について検討していく。